

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 社会福祉課 シート No.： 20 作成日： 2026.5/1

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	2 市民が相互に支えあう福祉を進める	少子高齢化が進む中で、地域社会のつながりの希薄化や、高齢者や障がい者、ひとり親家庭など支援を必要とする人々が増加しており、すべての方が地域社会で安心安全に生活できる環境を整えることが求められております。 高齢者を含めた多様な世帯がお互いに支え合える住民参加型の仕組みづくり（相互扶助システム）や支援制度の整備が必要と考えています。	誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる環境づくりや、つながりの機会の創出に向けて、地域福祉を支える担い手やボランティアに努めるとともに、その活動の充実を支援します。 また、連携する福祉団体等と協力し、再犯防止や恒久平和の周知活動にも取組みます。
	施策	1 地域福祉		
	施策内容	地域福祉活動の充実		
	その他、根拠法令及び分野別計画等			
事務事業名		地域福祉活動の充実		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 7 予算額	R 7 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 7 活動・事業内容	指標（単位）	R 7 目標値	R 8 目標値		
			R 7 実績値	R 9 目標値		
社会を明るくする運動 （R 7・8・9）	市内各所での街頭キャンペーンや市内4中学校と3高等学校において、非行防止や薬物乱用に関する啓発を行っております。	啓発品配布（枚） ポケットティッシュ	6,500	6,500	313 千円	183 千円
			7,043	6,500		
在宅福祉サービス「せいむ」～社協委託事業～ （R 7・8・9）	高齢者や障がい者、育児中の方などを対象に、家事・子育てに困っている方（利用会員）とお手伝いできる方（協力会員）を結ぶ、会員制の支え合い福祉活動になるよう支援しています。	せいむ協力会員数（人）	20	25	16,070 千円	15,991 千円
			11	30		
庁用バス管理事業 （R 7・8・9）	市の事業での利用の他、市と連携している福祉団体等の研修活動支援として、庁用バスの使用を許可しています。	福祉団体利用件数（件）	30	30	4,261 千円	4,515 千円
			37	30		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 7 実績値
せいむ相談件数	300 件	166 件
せいむ支援成立件数	300 件	新規 5 件
せいむ活動件数	—	559 件

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
社会を明るくする運動は、非行防止・薬物乱用に関する啓発を実施しました。社協委託事業である在宅福祉サービス「せいむ」の協力会員は目標値に届かず、実際に動く会員は減少傾向にあります。要望される支援と提供できる支援には乖離があり、活動件数は多いものの、要望にこたえられない相談も多くあります。庁用バスの福祉団体利用件数は、目標値を超えているものの、利用件数全体の約3割にとどまっています。教育委員会が運用していた5号車の故障及び運行停止以降、各学校とプールの往復や社会科見学など、学校での利用が増加傾向にあります。地域福祉に貢献するよう、福祉に関する大会への参加や福祉イベントの企画など、バスの利活用をすすめてまいります。	☐ コスト	☒ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	社会を明るくする運動は、今後も積極的に啓発する必要があります。社協委託事業である在宅福祉サービス「せいむ」は、協力会員の増加策や制度改正を社会福祉協議会と検討する必要があると考えます。庁用バス1号車は「福祉バス」として導入し運用されてきました。地域福祉に貢献する利活用を模索しつつも、近年の利用状況に鑑み、幅広い利用を促進するため、教育委員会管理のバスも含め、一括で管理する方向性の検討も必要と考えます。			